

外国人留学生の就職促進について（外国人留学生の就職に関する課題等）

### 文部科学省高等教育局学生・留学生課 課長補佐 丸岡 充

ただ今、紹介いただきました文部科学省学生・留学生課の丸岡です。留学生の就職の現状や文部科学省の取組、留学生の就職に係る施策に関する最近の動向などを簡単に説明したいと思います。

まず、スライド1ページの最初のグラフですが、入国管理局の調査で、就職を目的として在留資格変更の申請をして処分された数が年々増加しています。これは大学だけではなく、短大、高専、専修学校も含めた数字になります。

スライド2ページですが、こちらは大学、大学院についての数字で、長いほうのグラフが卒業者数で年々少しずつ増加しています。短いほうの赤色のグラフが国内就職者数です。こちらも数字的には少しずつ増えていますが、割合、比率としては少し頭打ちの状態になっているという状況です。今、国内就職者数は35パーセントぐらいで政府としてはこの割合を高くしたいという目標を立てております。

また、一番下に日本学生支援機構の調査で、留学生全体の65パーセントが日本での就職を希望しています。こちらは複数回答ですので、就職か進学かどちらかという方もこの中に入ってきますが、それでも就職を希望する留学生が多くいますので、そういった方への支援が必要になってくるのではないかと考えております。

スライド3ページは留学生が就職する際の課題について、留学生と受け入れる企業側にアンケートを取ったものです。上のグラフの一番上の所に、留学生向けの求人が少ないというようなことや就職活動の仕組みが分からないということ、あるいは、右側のグラフで、留学生用の就職情報の充実が求められるというような回答があります。

このように日本の採用活動、あるいは企業での働き方ということが、なかなか外国人留学生に理解されない、情報がきちんと伝わらないという問題があるかと思えます。

また、それ以外にも、下のグラフにあるとおり日本語の問題があります。日本語による適性試験が難しいということや企業側からは留学生の日本語能力が不十分だという指摘がされております。日本語能力、アカデミックな日本語だけではなくビジネスの場で使える日本語ということになるかと思えますけれども、このような課題が挙げられております。

このような状況を踏まえ、文部科学省で委託事業として「留学生就職促進プログラム」(スライド4ページ)を行っています。現在12大学に委託をして行っています。大学、自治体、経済団体が連携してコンソーシアムを作り、ビジネス日本語、キャリア教育、インターンシップなどをやっていただく。こうしたインターンシップを通して、日本の企業に対する理解を深め、あるいは企業の側に、留学生を受け入れるということについて、理解を深めていただくというような取組を進めています。

現在は12拠点で実施していますが、今年、事業の中間評価を予定しており、中間評価で得られた情報などを基に、取組の情報を横展開するためのフォーラムや各団体へのアンケート調査などを実施したいと考えています。こちらについてもご協力をお願いできればと思います。スライド5ページが「留学生就職促進プログラム」を行っている機関で、大学、自治体、経済団体が連携して実施しています。

スライド6ページは、昨年12月に取りまとめられた「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」です。近年、我が国を訪れる外国人や我が国で働く外国人が増加をしており、また、昨年の秋に入管法が改正されて新たな在留資格として特定技能が取り入れられたこと等を踏まえ、外国人材の受入れ、共生のために政府として行う様々な取組をまとめたものです。この中に留学生の就職促進についても記載されています。

スライド6ページの一番下には、「留学生就職促進履修証明プログラム(仮称)」を文科省が認定して、留学生の国内企業への就職へつなげる仕組みの全国展開を図ることが記載されています。これは、先ほど紹介しました「留学生就職促進プログラム」で行われている取組を12大学だけではなく全国に広げていくため、大学で企業と連携して教育体制や教育プログラムを作っていただき、文科省であらかじめ一定の要件を定め、その要件をクリアしている教育プログラムについて、履修証明プログラムとして認定していくというものです。これは直接予算が付く事業ではなく、あくまで各大学の取組を認定するということとなりますが、奨学金の優先配分をここに行っていくということも検討をしております。

また、スライド7ページですが、一番上にあるように、留学生の就職支援を促すために各学校に対して留学生数や就職率の開示公表をするように要請するというものがあります。

最後のスライド9ページですが、この就職率の公表について今年4月に通知を出しております。留学生の就職支援の一層の取組の推進、日本での就職を希望する留学生に資するように、留学生数、就職率等の公表を行っていただきたいというものです。(2)にあるとおり卒業生数や就職希望者数、就職者数や就職率を掲載していただくようお願いいたします。また、各大学のホームページでの掲載にあたっては、教育情報の公表のページや留学生支援のページといった分かりやすいページに載せていただきたいと考えております。

就職率等の掲載は留学生に対する情報提供に加え、学内において留学生の就職支援の重要性について認識を高めていただくといったことも狙いとしてあります。スライド8ページには、今、申し上げたことが並べられておりまして、こういった取組を通じて、就職率を上げていきたいと考えております。

最後に、アフリカ出身留学生の就職支援についてお願いがあります。今年の8月に横浜でアフリカ関係の大きな会議が予定されており、現在、外務省を中心に、アフリカ出身学生の就職支援に取り組んでいます。今後、いろいろと文科省からもお願いすることがあるかと思っておりますので、そのときは協力を頂きたいと思っております。私からは以上です。ありがとうございました。

